

ひめゆり西田発言問題の決議が可決！

北陸新幹線延伸

「大深度トンネルへの反対決議が可決！

代表質問

玉本なるみ（北区）

物価高騰対策、国保、ギャンブル依存症、
万博校外学習など

赤阪仁（伏見区）

北陸新幹線問題、教員不足解消、
交通不便地域対策など



五条高倉 漏水箇所調査(5月2日)

自治体要求連絡会 早朝宣伝 市役所前(5月28日)



市政
動向

No.459

5 月市会

2025年

5/23～6/6

市政に対するご意見をお寄せください

日本共産党京都市会議員団

京都市議団

検索

ホームページで京都市会議員団の活動、政策などを発信しています。

QRコードはこちら→



物価高騰対策、消費税5%への減税を 国保料引き上げ撤回、医療・介護への支援を 大阪・関西万博への校外学習参加の中止を



玉本 なるみ 議員

玉本なるみ議員は、5月28日に開かれた本会議で、日本共産党を代表して質問を行いました。

消費税5%への引き下げを

玉本議員は物価高騰から暮らしを守るため、消費税を緊急に5%に引き下げ、一世帯年間12万円の減税が一番効果的と指摘。市長に国に求めるとともに直接支援を行うよう迫りました。市長は「消費税は社会保障の貴重な財源」としながら「減税により市民サービスの提供に支障なきよう国の慎重な議論が必要」等と答弁しました。

国保料引き上げの撤回を

玉本議員は、6月からの国民健康保険料の引き上げを撤回すべきと追及。国がすすめる保険料水準統一ではさらなる保険料値上げだと批判しました。

また昨年12月より健康保険証の新規発行が廃止されたもとで、独自の判断で国保被保険者全員に資格確認書の発送を求めました。

医療機関の入院ベッドの削減の撤回を

玉本議員は「2024年の医療報酬の引き下げと物価高騰により、多くの医療機関は経営が悪化している。政府は大規

模な入院ベッドの削減のために、消費税を財源として入院ベッド1床削減する」とに410万円の支援を出すという提案をしている」と指摘し、「コロナ感染時、入院ベッドがなく自宅待機されていた方が亡くなるという痛恨の教訓があった。市民の命を守る立場で、市長が国と京都府に対して、入院ベッドの削減はすべきでないこと、医療従事者の賃上げ対策を国や京都府に求めるべき」と追及。吉田副市長は「医療機関の運営は厳しい状況にあると認識」と示しながら「国が示す適正化を踏まえても、本市を含む京都・乙訓医療圏の基準病床を上回る」と入院ベッド削減を容認しました。

訪問介護事業所の実態調査と独自支援を

玉本議員は、「昨年4月に報酬が引き下げられた訪問介護事業所の経営が厳しくなり、訪問介護事業所のない自治体も増加している」と指摘。保険者として、緊急に訪問介護の実態調査を行うよう求めました。また引き下げられた基本報酬の差額分の補填や車の燃料費等を支給している新潟県村上市にも学び、京都市としても同様の対策をとるべき」と求めま

した。保健福祉局長は、「本市で独自に調査する考えはない」「本市独自に訪問介護員の処遇改善は困難」などと関係者の思いに背を向けました。

以上の答弁を受け、玉本議員は「市民の暮らしや医療、介護、国保の問題はかつてなく深刻な状況にあるともしっかり認識すべき。自治体としての対策を強め、役割を果たすべき」と主張しました。

ギャンブル依存症対策の充実を

玉本議員は、ギャンブル依存症問題を考えるセミナーに参加した経験を紹介し、「ギャンブル依存症が増えていることに危機感を持っている」として、市に深刻化しているギャンブル依存症の実態についての認識を問うとともに、「国や自治体が対策を強化すべき。こころの健康増進センターの相談体制強化と京都市立病院に専門医の配属を行うなども検討すべき」「急ぎ、予防対策としての取り組みを」等と求めました。保健福祉局長は「ギャンブル依存症は本人や家族の生活に支障を生じさせ、多重債務や犯罪等の重大な社会問題を発生させる恐れがある。喫緊の課題」と認識を示し、「本市の強みを生かして対策の強化を図っていく」と答弁しました。

大阪・関西万博への

校外学習の参加の中止を

玉本議員は、「5月13日に会場に行き、

いくつもの課題となる実態を見てきた。熱中症対策、安全対策が不十分と言わざるを得ない状況だ」と述べ、安全対策を求めるとともに、大阪府内でも吹田市、交野市、熊取町、島本町等の市町の教育委員会が参加見送りを表明していることを示し、「校外学習としての大阪関西万博への参加の中止を決断すべき」と質しました。教育長は、「指摘の安全対策については、日本国際博覧協会が適切に対応されているものと考えている」「万博への校外学習について現時点で20校を超える小・中・高等学校が実施し、万博でしか体験できない学びを得ることができ、教育的な効果を実感している」などと無責任な発言に終始しました。

ジェンダー平等の推進を

玉本議員は、管理職になっても残業せずに帰れるように職員数を増やすなどの体制の拡充など職員の働き方の改善と共に女性管理職の登用率を上げる取組の強化を求めました。

大田神社大田ノ沢の保護を

また、地元北区上賀茂の国の天然記念物に指定されている大田神社の大田ノ沢の隣地での建設計画について厳正な指導を要望しました。

北陸新幹線地下延伸計画はきっぱり中止を 交通不便地域の解消、敬老乗車証制度を元の制度に 教員不足の解消、教育条件の整備を



赤坂 仁 議員

赤坂仁議員は、5月28日に開かれた本会議で、日本共産党を代表して質問を行いました。

北陸新幹線延伸計画中止を

赤坂議員は、市長が、北陸新幹線地下延伸計画について4つの懸念を示したが、国交省と鉄道・運輸機構による説明を受け、懸念が払拭されないのであればきっぱりと中止を求めるよう迫りました。

また北陸新幹線よりも、サンダーバード金沢直行便の復活や在来線の充実、さらには、4月に発生した水道管漏水事故からも、住民に身近な老朽化したインフラ整備にこそ予算を回すべきと求めました。

市長は、『文化・歴史的建造物等への影響』を加えた5つの懸念に対し、市民の体感的な理解・納得を得ることが不可欠―「サンダーバードは、多くの市民が愛着をもっており、JR西日本には、十分受け止めていただきたい」と答弁しました。

再開発、大型開発をやめ、 京都の街並み、景観を守れ

赤坂議員は、高さ60mまで規制緩和し、京都駅周辺を新たなビジネス・交流の拠点へ、住民不在でオフィス・商業施設の呼び込をすすめようとしていることを批

判、新景観政策を堅持し、京都の街を守るため、中低層高密度の街づくりをすすめるよう求めました。また、未来投資促進法に基づき本来転用が許可されていない優良農地を企業用地に転用しようとしていると批判。向島地域等の調整区域内の優良農地を廃止し、巨大流通センターにする開発は中止するよう求めました。

副市長は、新景観政策の理念の下、定住・移住の促進や戦略的企業誘致などを進めていくと答えました。産業・文化戦略監は、向島地域において都市農業の振興にも取り組むとしながらも産業用地の創出を進めていくと答弁しました。

敬老乗車証制度を元に戻せ 交通不便地域の改善を

赤坂議員は、敬老乗車証制度の改悪（2022年）について、負担額が2倍、3倍に増え、約6万人の方が申請をあきらめており、高齢者の足を守るためにも敬老乗車証制度をもとの制度に戻すことを求めました。

保健福祉局長は、元の制度へ戻す考えはないと冷たい答弁を行いました。

赤坂議員は、交通不便地域の解消を求めるとともに、それに逆行する市バス路

姿勢を示しました。

赤坂議員は、小中学生の遠距離通学費の全額公費負担、総合支援学校の障がい児通学用スクールバスを車いすで乗り降りできるバスに更新するよう求めました。

学生支援の充実を

赤坂議員は、市バス・地下鉄の学生通学定期の割引率が、他都市の公営バス・地下鉄のなかでも低いことを示し、割引率の引き上げを求めました。

交通局長は、「学生支援の観点からは有効」と認め「慎重に検討していきたい」と答弁しました。

また、大きな負担となっている奨学金返済について、府の就労一体型奨学金返済支援制度など、市としても府の支援制度に上乘せすることを求めました。

産業・文化戦略監は、制度の周知の拡大など従来の答弁に留まり、市独自の支援については触れませんでした。

安心して住み続けられる 市営住宅の充実を

赤坂議員は、「行財政改革」で市営住宅の「家賃減免制度」が改悪され、世帯家賃が8割減免の月4800円から5年後には月2万4000円に上がると厳しく批判。減免制度を元に戻し、住み続けられる市営住宅とすることを求めました。都市計画局長は、「見直す予定はない」と、冷たい答弁に終始しました。



なんだっけ？ 4つの懸念とは

地下水への影響

建設発生土

交通渋滞

財政負担

線の減便に対し、処遇改善による運転士確保で減便をもとに戻すよう求めました。副市長は、運転士確保に向け、給与改善など手だてを講じていくと答弁したが、バス減便については、市民生活への影響を最小限に抑えたと開き直りました。

教員不足の解消、 教育条件の改善を

赤坂議員は、教員不足は深刻で、市全体で、昨年2月には182人、今年2月には75人の欠員が生じていると指摘。また、教員の長時間・過密労働も深刻で、教員を増員すべきと求めました。

教育長は、来年度の採用予定者は、中学校の35人学級実施も見据え、平成以降最大の400名以上とし、国に対し定数改善を要望しつつ教員確保に努めていくと答弁しました。

学校調理による全員制中学校 給食の実施を

赤坂議員は、全員制中学校給食について、2028年度の実施計画では、大型給食工場手法となっているが、調理から2時間以内喫食、栄養教諭の配置のためにも、大型給食工場ではなく学校調理での中学校給食実施を求めました。

教育長は、自校方式や親子方式は実現困難と決めつけ、2時間喫食が困難なため一部民間調理場の活用が必要であるにもかかわらず、大型給食工場で強行する

沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める 決議を可決



山田じゅんじ議員が決議について討論

山田議員は、自民党西田昌司参議院議員の「ひめゆりの塔」の展示を巡る発言について、歴史を修正しようとするものだとして述べ、謝罪も撤回もしておらず、その後も同様の発言を繰り返しているとして批判し、京都市会として、京都選出の議員がこのような発言をしたことに強い遺憾の意を表明しました。

その上で、沖縄では日本国内で唯一の地上戦となり、県民の4人に1人を含む20万人が犠

牲となったこと、「ひめゆり学徒隊」は136人が命を落とした歴史こそ謙虚に学ぶべきだと述べました。

山田議員は、西田氏の発言に対して、満身の怒りをもって抗議し、ひめゆり学徒や沖縄戦体験者の証言をゆがめ否定する発言について、謝罪し、撤回するべきだと強く主張しました。

「京都市内大深度地下トンネルルート」 反対決議を可決！



加藤あい議員が決議について討論

加藤議員は自民党などが提出した決議は、「早期事業推進」をうたっており賛成できないと述べました。又「京都市内大深度トンネルルートへの反対決議」について、市長が、4つの懸念（P5参照）に「文化歴史的建造物等への影響」を加え、5つの懸念を表明していると指摘。主権者市民に詳細情報の説明されていないことは重大だと厳しく批判しました。

さらに、国交省の「地下鉄東西線建設工事についてシールド工法による水枯れなどの井戸補償はゼロ」との説明に対し、党議員団が

明らかにした100件以上の井戸補償が発生していた事実について国交省は、京都市から資料提供を受けていたにもかかわらず、「京都市の協力が得られていない」と国会で虚偽答弁し、その後答弁を撤回し、京都市に謝罪する事態となっており、情報を隠す、ごまかすという行政としてはあるまじき不誠実な姿勢に陥っていると指摘。現行計画をこのまま進めることは「京都の未来に向けて重大な問題を招く」として反対を表明しているのは当然と述べました。

公園は市民の財産 企業の利益前提の不備な契約は撤回すべき



やまね智史議員が南石本公園の指定管理議案に反対討論

やまね議員は、都市公園を営利企業の儲けのために使うPark-PIFや、市の責任を後退させる指定管理者制度の導入そのものに反対であると表明。その上で今回の議案の重大な問題として、Park-PIF事業関連事業者が指定管理者として提案されている

が、昨年の「再整備事業基本協定」ですでに指定管理を前提とするような内容となっており、議案審議後に協定の訂正が示されたこと批判。不備をそのままにした状態で議案を提出した市の責任が厳しく問われると述べ、本来撤回されるべき議案であったと主張しました。

コメの価格高騰対策・安定供給・ 農業改革を国に求めよ



くらた共子議員が意見書案に賛成討論

くらた議員は、米不足と価格高騰は、自公政権の誤った農政が原因と指摘、消費が減ることを前提に、減反・減産を押し付け、年44万トン不足を招き、所得補償を2018年に全廃し、農家減少に拍車をかけたと指摘しました。米の需給と価格安定には、増産への転

換が必要、家族農業を支援し国の責任での価格保障・所得補償、直接支払いを求めました。米の輸入は生産基盤を一層弱体化させるため、廃止・削減すること、放出した備蓄米は適正価格で購入できるよう国が責任を持つことを求めました。

消費税5%への減税を 財源は、大企業・富裕層への応分の負担で



平井良人議員が意見書について討論

平井議員は、物価高騰のなか、すべての商品・サービスを対象とする消費税一律5%への減税は、平均的な勤労者世帯で年間12万円の減税になり、「食料品のみゼロ」にした場合は年間6万円程度の減税額であり、最も効果

的な対策だと強調しました。財源の15兆円は、国債に頼ることなく、自公政権が進めてきた大企業優遇減税で年間11兆円、所得1億円を超える富裕層や大株主優遇の税制を見直すことで賄えると述べました。

5月市会での決議・意見書の採択結果

決議・意見書に対する態度 ○=賛成、×=反対

件名	審議結果	共産	自民	維京国	公明	民主	改新	無所属1	無所属2	無所属3	無所属4	提出会派等
沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める決議について	可決	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	維京国、共産、改新、無所属1、無所属4
京都と沖縄の絆を次世代に伝え平和社会の実現を目指す決議について	否決	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	自民、公明、無所属2
北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対決議について	可決	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	維京国、共産、改新、無所属1
北陸新幹線延伸計画に係る国等の適切な対応を求める決議について	可決	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	自民、公明、無所属2

地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市会議員全員
国民健康保険制度に係る財政支援の拡充等を求める意見書の提出について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自民、維京国、公明、民主、改新、無所属2、無所属3、無所属4
国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書の提出について	否決	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	共産
米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	自民、維京国、公明、民主、改新、無所属2、無所属4
米国「トランプ関税」撤回と中小企業等支援策拡充を求める意見書の提出について	否決	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	共産
米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自民、維京国、公明、民主、無所属2、無所属4
コメの価格高騰対策と安定供給に向けた農政改革を求める意見書の提出について	可決	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	維京国、共産、民主、改新、無所属1、無所属4
事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自民、維京国、公明、民主、無所属2、無所属4
観光課題及び観光客受入環境整備に係る意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	自民、維京国、公明、無所属2
国際観光旅客税収の地方自治体への配分を求める意見書の提出について	可決	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	維京国、改新
消費税減税の議論の加速と地方財政への影響回避を求める意見書の提出について	否決	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	維京国、改新、無所属3、無所属4
消費税を緊急に一律5%に引き下げ、インボイス制度の廃止を求める意見書の提出について	否決	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	共産
日本学術会議の法人化法案に反対する意見書の提出について	否決	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	共産
医療危機を更に深刻にする病床削減方針の撤回を求める意見書の提出について	否決	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	共産

(注) 自民＝自由民主党京都市会議員団
公明＝公明党京都市会議員団
無所属1＝井嶋敦子議員

維京国＝維新・京都・国民市会議員団
民主＝民主・市民フォーラム京都市会議員団
無所属2＝繁隆夫議員
無所属3＝菅谷浩平議員

共産＝日本共産党京都市会議員団
改新＝改新京都
無所属4＝平田圭議員

5月市会 閉会本会議

とがし豊議員は、日本学術会議の法人化法案について、2020年菅首相による学術会議任命拒否問題を学術会議の在り方の問題にすり替え、法人化ありきで強引に進めるものと指摘。学術会議は、戦前学術が戦争遂行に加担したことへの痛苦の反省の上に設置されたものであり、「学問の自由」を保障する憲法に立脚し、科学者の総意の下、平和的貢献を使命とした戦後の出発点を消し去るものであり許されないと批判しました。



とがし豊議員
「学問の自由」への介入を許すな
意見書の採択を求めて討論

北山議員は、トランプ関税が世界を混乱させ、日本の自動車会社が大幅減損を公表、京都商工会議所の調査で6割超の企業が「マイナス影響」と回答と指摘しました。関税撤回を強く求め、経済・食料主権を尊重するルール構築、中小企業等への調査実施、相談窓口の設置、「ゼロゼロ融資」「セーフティネット保証」などの拡大雇用を守る緊急給付金の支給などを求めました。政府が指導し、大企業に社会的責任を果たさせることが重要と強調しました。



北山ただお議員
トランプ関税撤回と中小企業支援拡充を国の責任で
意見書について討論

意見書討論

6月6日



えもとかよこ議員
医療危機をさらに深刻にする
病床削減方針の撤回を
意見書の採択を求めて討論

えもと議員は、病床1床あたり410万円の給付金を出すという国の「病床数適正化支援事業」に申請が殺到するという異常な事態について、「病院つぶしにつながる」と厳しく批判。さらに自民、公明、維新の会3党による、最大11万床削減合意を「救急医療が機能しなくなり、医療崩壊が急激に進みかねない」と告発。コロナ禍での教訓も示し、「パンデミックを視野に入れた医療体制整備が必要、病床削減ではなく、地域医療を守れ」と訴えました。



河合ようこ議員
国庫負担の増額で
国保料の引き下げを
意見書の採択を求めて討論

河合議員は国が保険料水準統一化で、より高い保険料を強いる方向へ誘導しようとしているもどで、「医療保険制度の一本化」には、保険料引き下げにはつながらないと反対しました。次に、わが党提案の意見書は「国民健康保険財政への国庫負担の増額」の一点を求めるもので、全国知事会や市長会・町村会からさらなる公費の投入が必要だと国への要望が続けられているものであり、市民のいのちと健康を守るために、この一点での賛同を求めました。

声明

5月市会を終えて

2025年6月12日

日本共産党京都市会議員団
団長 西野さち子

一、6月6日、5月市会が終了しました。党議員団は市長提案の18議案のうち12件について賛成し、向島の優良な農地をつぶす都市計画の変更、高さ等の規制緩和のなか新景観政策を見直す附属機関の設置、南岩本公園の指定管理者の指定についてなど6件について反対しました。

南岩本公園の指定管理者の指定について、討論に立ち、市民の財産・公共空間である都市公園を営利企業のもうけのために使うParkPIFや公的責任を後退させる指定管理者制度の導入に反対であることを述べ、ParkPIF事業者と本議案提案前に指定管理者制度を前提とした基本協定を締結し、不備をそのままに議案を提出、議案審査の前提を欠いたものであると指摘しました。

党議員団以外の自民、維・京・国、公明、民主、改新、無所属議員^{※1※2※3※4}全員は市長提案のすべての議案に賛成し、全議案が可決されました。

（※井嶋敦子議員、※繁隆夫議員、※菅谷浩平議員、※平田圭議員。以下同様）

【市民の声と運動、日本共産党の論戦が市政を動かす】

一、代表質問等

党議員団は物価高騰のもと、市独自の直接支援策を講じ、国に対して消費税減税を求めることを市長に迫りました。市長は、従前の答弁の他、物価高騰対策について「必要な場合は国に対しても要望していく」と

述べ、消費税減税にも言及しました。

北陸新幹線延伸計画については、代表質問において党議員団が唯一取り上げました。市長は、延伸計画について、これまでからの4つの懸念を「文化・歴史的建造物等への影響」を加えた5つの懸念」と表明。金沢までの直行便の復活・在来線の充実について「サンダーバードは多くの京都市民に愛着を持って受け入れられておりJR西日本には、市民の思いを十分に受け止めていただきたいと考えている」と述べました。

市バス・地下鉄の通学定期券の割引率の引上げを求め、公営企業管理者から「学生支援の観点からは有効」との認識が示され「慎重に検討していきたい」との表明がありました。

一、意見書・決議

党議員団が維・京・国、改新、無所属^{※1※4}と共同提案した「沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める決議」は、自民、公明、無所属^{※2}が反対しましたが、賛成多数で可決されました。決議では、5月3日の西田昌司参議院議員が行った、沖縄県のみめゆりの塔の展示をめぐる発言について、「沖縄県民の心を深く傷つけるものと言わざるを得ない」と断言。京都市会として、「京都選出の議員がこのような発言をしたことに強い遺憾の意を表明」し、「沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める」としています。

党議員が討論し、「西田氏の発言は、沖縄戦の実相

をゆがめ、戦没者や戦争体験者を冒瀝し、沖縄県民の尊厳を踏みにじるものであり、歴史を修正しようとするもの」だとして「満身の怒りをもって抗議する」とともに「ひめゆり学徒や沖縄戦体験者の証言をゆがめ、否定する発言について、謝罪し、撤回するよう」求めました。

自民、公明、無所属^{※2}が提案した「京都と沖縄の絆を次世代に伝え平和社会の実現を目指す決議」について、党議員団は、西田発言にふれない決議について「西田氏の発言を容認しながら、沖縄の人々の筆舌に尽くしがたい艱難辛苦に寄り添うことができるのか」として反対しました。同決議は賛成少数で否決となりました。

党議員団が維・京・国、改新、無所属^{※1}と共同提案した「北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対決議」も、賛成多数で可決されました（自民・公明・無所属^{※2}は反対）。決議では、北陸新幹線の京都市内大深度地下トンネル計画について、「市民はもろろん様々な団体や専門家から、問題があり撤回すべきだとの強い意見が届けられている」とし、現在の計画を「このまま進めることは、京都市の未来に向けて重大な問題を招く」「京都市内大深度トンネルルートへの反対を表明する」としています。

党議員が討論し、「5兆円もかけて、30年後の新幹線を延伸するのではなく、最も低コストで現実的なサンダーバードの復活と延伸、暮らしに予算を重点配分する国策こそ求められて」という主張しました。自民、公明、無所属^{※2}が提案した「北陸新幹線延伸計画に係る国等の適切な対応を求める決議」も民主、無所属^{※3※4}の賛成で可決されました。党議員団は同決

議に「国策としての意義は認める」として「早期の事業推進」を掲げるものであることから反対しました。

党議員団が維・京・国、民主、改新、無所属^{※1※4}と共同提案した「コメの価格高騰対策と安定供給に向けた農政改革を求める意見書」も賛成多数で可決されました（自民、公明、無所属^{※2}は反対）。意見書では、「本年に入り、ようやく備蓄米の放出を決断したものの、価格高騰の解決には程遠く」「減反政策を含む需給調整による営農継続には限界がきているという危機感の下、農政改革を行うべき」としています。

党議員が討論し、減反・減産を押し付けてきた農政を批判。主食である米の需給と価格の安定を図るには、増産へ切り替える抜本転換が不可欠であり、価格保障・所得補償、直接支払いを実現するべきだと述べました。

※他の意見書の採択結果はP9を参照。

一、委員会直接傍聴

委員会（常任委員会と、予算・決算特別委員会局別質疑）の直接傍聴が6月2日から日から可能になりました。党議員団が長年、求めてきたものです。主権者市民に開かれた議会として、引き続き、常任委員会での請願者や陳情者の趣旨説明を実現するために力をつくします。

一、終わりに

参議院選挙が目前に迫っています。党議員団は、市民との共同で政治を変える倉林明子参院議員を先頭に奮闘する日本共産党の前進へ全力をつくします。

14人の市会議員から一言

市民の声が 議会を動かす！

えもと かよこ 右京区



5月市会、自民党の西田昌司参院議員の発言や見解が沖縄県民の心を深く傷つけたことに対し、京都市会として強い遺憾の意を表明する決議と北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対決議が可決しました！ 胸がいっぱいです。私は総務消防委員会に付託された議案「金融機関の指定」について質疑し、一般質問で、北陸新幹線京都延伸計画ストップと公共施設の女性トイレ及び多目的トイレに生理用品の設置を求めました。

戦前の「御奉公」と 日本の政治

赤阪 仁 伏見区



朝ドラの「あんぱん」で、ノブが皇国の母と教師の鑑として称賛されている。「今日も一日元気です。兵隊さんのおかげです」と歌わされたという故・山本正行先生の歌を思い出した。

戦死通知が来ても、「立派にご奉公された」との周りの声に、妹のランが、「戦争にかかわることはいやだあ」と本音を吐く。私の新任教員時代には、戦争体験者が多く、「私ら先生のこと神様のように思っていた。寒い冬にもパッチなど履いているとは思わなかった」と言われたものだ。今の日本の政治も、国民は「自己責任論」の基盤の上に放り出されている。救いの手は、日本国憲法だ。

「北陸新幹線京都地下延伸計画」に反対する決議

団長 西野 さち子 伏見区



今議会の最終本会議で、「北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対決議」が可決されました。自民党と公明党は反対しました。5兆3千億円も使って京都の貴重な地下水を壊す計画に、多くの市民の反対の声が上がっています。市長もこれまでの4つの懸念に加えて、文化や歴史への懸念を加えて5つの懸念を言っています。共産党は北陸新幹線計画に反対の立場から、決議に賛成の討論をしました。

14人の 市会議員から一言

団長 西野さち子
副団長 北山ただお
幹事長 加藤 あい

農政を転換し 主食の安定供給を！

くらた 共子 上京区



コメ不足と価格高騰の原因は自民公明政権の誤った農政にあります。減反・減産を農家に押し付け、所得補償を廃止してきたことが農家減少に拍車をかけました。国民の主食を守るためにコメを増産する農政への抜本転換が必要です。そのために家族農業を支援する価格保障・所得補償、直接支払いの実現が必要と討論しました。他党会派と共同し意見書を可決させることができたことは大切な成果です。

いのち守るためにこそ 国はお金を使って

河合 ようこ 西京区



新型コロナウイルスワクチン接種に国が全く支援をしない中、高齢者等が接種を受けやすいように独自支援する予算が提案されました。それでも7500円、5000円という高さ。これで受けたい方が本当に受けられるのか？ もっと負担軽減すべきだし、やっぱり国が公費で責任を持つべきだと質疑しました。今年度、国保料も大幅値上げ。国庫負担が少なすぎです。党議員団は国庫負担の増額求める意見書を提案しました。国の予算は命・健康守るためにもっと使うべきです。

5月市会・市民の声と 運動が政治を動かす

幹事長 加藤 あい 左京区



「北陸新幹線の京都市内大深度トンネルルートへの反対決議」を可決しました。昨年度も「北陸新幹線延伸計画の強い懸念表明を京都市会に求める請願」が提出され、繰り返し委員会で審議を重ねてきました。市民のみなさんの議会への働きかけや、運動が今回の「反対決議」に実を結びました。京都市会を動かした市民のみなさんの力を思い討論に立ちました。「沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める決議」も賛成多数で可決。これも、多くの市民の良識の力です。

老朽管更新は 待ったなし

副団長 北山 ただお 山科区



埼玉県八潮市の下水道道路陥没事故や京都市五条通の水道漏水事故を受けて、国交省もいっせいに緊急調査を始め、老朽管更新に対する市民の関心も高まっています。京都市の水道管で調査必要箇所は1.9km、171か所に上り、市はその内の40か所・500mは「3年以内に更新する」と述べました。私は、老朽管の更新に当たって国の補助制度を抜本的に拡充することや京都市一般会計からの下水道会計への出資金休止の復元と来年度予算には復活計上することを強く求めました。

14人の市会議員から一言

大型道路建設の スパイラル!?

やまね 智史 伏見区



渋滞対策等のために国道1号バイパス（滋賀京都連絡道路）を新たに建設しようという動きがあります。ところが、国や京都市の資料には、その結果として「京都市中心部への交通集中」が想定されています。巨額の税金で大型道路を建設しても、新たな渋滞が起こるなら本末転倒。市議会では、渋滞対策のため大型道路をつくり続けるスパイラルに陥るのでは？と指摘しました。市民の大切な税金を優先して使うべき分野はどこなのか。引き続き追及します。

京北地域の医療を守れ！

山田 こうじ 右京区



令和6年度予算に「京北病院の機能の検討」のための予算が計上され、民間のコンサル企業に調査が委託され、住民置き去りの「検討会」で人口減少を口実に、機能の後退が危惧されています。京北では「京北の医療を考える会」を立ち上げアンケートを実施されました。短期間に300近い回答が寄せられ、京北病院の機能強化を求める声、4つある診療所は命綱との多くの声が寄せられました。京都市には地元の声にしっかり向き合うことが求められています。

うれしいニュース インクラインが国宝に！

とがし 豊 左京区



琵琶湖疏水施設24か所が国宝・重要文化財に！大変うれしいニュースでした。中でも、蹴上インクラインの国宝指定は感慨深いものがありました。蹴上インクラインがその役目を終えてから放置され、道路化される恐れがあるといち早く察知した他谷岩佐さんが南禅寺や住民の皆さんと一緒に運動し、守ったという経過があるからです。その良き伝統を受け継ぎ、いよいよこの秋には、世界文化遺産保護条例実現へ京都の住環境と景観を守り抜くため一層頑張ります。

市民の声を 徹底して聴くこと！

玉本 なるみ 北区



今回は議員団を代表しての質問をするにあたって、医療現場の大変な実態や介護事業所、ギャンブル依存症の家族会のお話を聴き、大阪・関西万博には実際に行ってみて、安全対策の問題の実態を体験し、質問することができました。やっぱり、現地に行くこと、声を聴くことが市会議員の仕事として重要だということを実感しました。引き続き、市民の困りごとに寄り添い、改善に向けて頑張ります。

New 新着情報 (見解・声明など)

【申し入れ】「トランプ関税」対策についての緊急申し入れ（2025/4/25）

【申し入れ】大阪・関西万博における児童生徒の校外学習等の中止を求める申し入れ（2025/4/11）

【申し入れ】公共施設の女性トイレ及び多目的トイレ個室に生理用品の設置を求める申し入れ（2025/4/10）

【声 明】2月市会を終えて（2025/3/27）

全文は、市議団ホームページをご覧ください。

ひめゆりの塔の歴史への 暴言許さない

山本 陽子 山科区



議会審議終盤で意見書や決議のすり合わせを行っています。京都市会として暴言の参議院議員に対する抗議決議を表明すべき責任があります。今回「京都市会として…強い遺憾の意を表明し、…沖縄戦の歴史に真摯に向き合うことを求める」決議を採択しました。しかし、自民党と公明党は賛成しませんでした。戦争を繰り返させないために故野中広務氏も奔走し建立された「京都の塔」が宜野湾市にあります。歴史の修正は許されません。

お金がものをいう政治は 終わらせたいものです

森田 ゆみ子 南区



今議会でのまちづくり委員会の焦点は子育て応援にかかわることでした。山科区にあるラクト健康文化館（公共のプールと健康ジム）を閉鎖して、近くにある図書館を5階に移設し、プールがあった6階には有料で子供が遊べる屋内遊技場を建設するプランを外部のコンサル会社に委託する3300万円の予算と、南区にある南岩本公園を民間に指定管理させることの議案でした。民間の営利目的に市民の財産である公園や公共施設を差し出すこれらの議案に怒りがわきました。いったい誰が得をするのでしょうか。

高さ規制緩和前提の 有識者会議はやめるべき

平井 良人 中京区



5月市会には「新景観政策」を検討する審議会の設置が議案として上りました。その審議会を前に京都市は「京都駅前の再生に係る有識者会議」が開かれ、京都商工会議所から60mへの高さ規制緩和を含めた意見書が出され、その意見書を大幅に飲み込む形で有識者会議が進められています。住環境の悪化や地価の高騰を招き、これまで住み続けてきた方々を追い出すことにつながる可能性があります。安易な高さ規制緩和はやめるべき。

北 区



玉本なるみ

☎090(1598)0778

上 京 区



くらた共子

☎080(1486)7304

中 京 区



平井 良人

☎090(6557)4740

左 京 区



とがし 豊

☎(771)7847



加藤 あい

☎090(5098)9127

右 京 区



えもとかよこ

☎090(3999)0969



山田こうじ

☎090(3970)4701

南 区



森田ゆみ子

☎080(5702)0166

山 科 区



北山ただお

☎(501)6197



山本 陽子

☎(595)8342

西 京 区



河合ようこ

☎(392)3546

伏 見 区



赤阪 仁

☎090(3485)0929



やまね智史

☎(622)2009



西野さち子

☎(571)5731

9月市会の日程

開始本会議

9月19日(金)

代表質問

10月1日(水)、2日(木)

市長総括質疑

10月20日(月)、21日(火)

事務局から

◆6月から市会常任委員会の直接傍聴が可能になりました。市民が直接委員会会室に入れるようになり、議員に配布されている資料も整えてあります。

◆党議員団は、常任委員会が公開されていない頃から「委員会の公開でガラス張りの市会を」と主張していました。◆6月2日の委員会では、まだあまり知られていないと見え、傍聴者は他におられませんが、市民が直接傍聴することで議論がさらに活性化するのではないのでしょうか。◆

実は2017年まで行われていた市会改革委員会に限り、直接傍聴が可能だったことはあまり知られていないかも知れません。一步一步積み重ねてきてようやくここまで来た、ということです。請願者による趣旨説明も実現したい。たくさんの方が傍聴に来られることをお待ちしております。

(守光千恵)

発行

日本共産党京都市会議員団

2025.7.7

TEL 075-222-3728 FAX 075-211-2130

〒604-8571 京都市中京区河原町御池 京都市役所内 <https://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp



京都市会議員団の活動、
政策などを発信しています。

<https://cpgkyoto.jp/>



市政に対する
ご意見をお寄せください。

E-mail info@cpgkyoto.jp



ユニバーサルデザインの視点で
作られた文字フォントを採用し
ています。